

みんなともだちプロジェクト 横須賀支部

現地支援先訪問報告書 vol.2



東日本大震災
復興支援

みんなともだちプロジェクト

1. 支援活動目的 支援物資の確認及び現地状況の把握
支援先である安渡保育所の職員・園児との交流、懇談、遊具の設置
みどり幼稚園・おさなご幼稚園の教職員との懇談
大槌町商工会・その他支援先訪問 今後の打ち合わせ
2. 活動期間 平成24年3月25日（日）から3月27日（火）まで
3. 参加メンバー みんなともだちプロジェクト 大津幼稚園教職員及び関連スタッフ19名・
岩波幼稚園岩波園長・鴨居幼稚園内山主任
同行 葉山町赤十字ボランティア・みどり幼稚園再建プロジェクト 待寺真司
4. 活動経費 プロジェクトからの出費は0円、活動従事者1名あたり23,000円を個人負担

5. 活動詳細（全行程）

25日	21:00	横須賀市大津町集合・出発 横須賀中央ドコモ前経由 逗子IC～釜利谷JCT（首都高速）～川口JCT 夜行運行《車中泊》
26日	6:00 8:30 9:00 9:30 10:00 12:00 12:30 13:30 16:00 18:00 19:00	鏡石PA・前沢SAにて休憩東和IC 道の駅 東野風の丘にて休憩～釜石市 大槌町役場前着 大槌町商工会にて届けるともだち 伊藤氏挨拶 大槌町役場総務挨拶 教育委員会挨拶 保育所まで徒歩移動（被災地視察） 安渡保育所（旧安渡小学校にて仮開設）訪問 先生との懇談・子ども達との交流 徒歩移動 おらが大槌復興食堂にて昼食 みどり幼稚園（仮設園舎）訪問 先生方との懇談 おさなご幼稚園訪問 先生方との懇談 ホテルサンルート釜石到着 割烹『丸藤』にて夕食 参加者意見交換会
27日	7:00 8:00 8:20 9:00 10:45 12:15 13:15 13:30 15:00 24:10 25:10	朝食 ホテルサンルート釜石出発 みどり幼稚園被災園舎視察 山田町 木村商店 再建新工場見学・買い物 吉里吉里町に移動・視察 吉里吉里保育園訪問、挨拶 堤乳児院訪問、支援計画の確認 本部の届けるともだち チームファンタジスタさんと交流 （安渡保育所にて遊具設置） 大槌北小仮設商店街にて昼食 （和田商店にて 大槌小支援 方眼ノート185冊支払い） 大槌北小仮設商店街出発 安渡保育所遊具設置班と合流・大槌町出発 道の駅 東和にて休憩 東和IC～東北道 前沢SA・黒磯PAにて休憩 横浜駅着～大黒PAにて休憩～横須賀中央～ 横須賀市大津町着

6. 活動概要及び所感など

今回の活動の主な目的は、震災から1年たった現地の状況把握、そしてこれからの復興応援の内容を再確認する事でした。また、みんなともだちプロジェクト横須賀支部が行った支援物資の確認と子ども達との交流、現地の先生方と懇談の場を持ち今後私たちが被災時した場合に備える事も大きな目的です。

震災より1年が過ぎた被災地は瓦礫こそ仮設の置場にきれいに片付けられているものの、まだ手がつけられていない建物が残っている状態です。片付けられた更地にはよく見ると、割れた茶碗や生活用品の残骸があり、ついこの間まで生活していた様子が伺え、胸が締め付けられる思いがしました。

2011年夏の訪問の以来久しぶりにお会いした「届けるともだち」大槌町商工会の伊藤氏は、お元気そうで、私達との再会を喜んで下さり、商工会の車をお借し下さるなどご協力を頂きました。その後、町役場の総務課・教育委員会に私たちの活動の説明と挨拶を済ませ、安渡保育所に向けて出発。30分かけて被災した町を徒歩で移動しました。

安渡保育所では芳賀所長が、横須賀が海に囲まれている事を心配し、3月11日震災当日のお話を1時間にわたり事細かに話して下さいました。特に、“子どもを保護者に引き渡せば安心”ではなく、“一緒に避難する事が大切だった”と、その時の状況をよく考えて行動する大切さを、力を込めて話されていたのが印象に残りました。その後、支援させていただいたお昼寝布団を見せて頂き、子ども達とも楽しく歓談。部屋に掛けてある避難する際に実際に使用している避難ロープなども手に取らせて頂きました。

街の中心の駅であった事がホーム以外に周囲に何も無いJR大槌駅を通り、町内を再び30分ほど、昨年11月に地元運営法人が立ち上げた仮設テントの「おらが大槌復興食堂」へ向かいます。店長の岩間美和さんが本来は月曜日が定休日であったところを特別に開けて下さいました。大槌名産である鮭といくらの『おらが丼』をおいしく頂き大満足。

昼食後は、バスにて海岸から遠く離れた山間部の仮設園舎で保育を再開しているみどり幼稚園へ移動。こちらでも、春休み期間にもかかわらず佐々木栄光園長をはじめ先生全員が待っていて下さり、約2時間「引渡しカード」などの資料を交えた貴重なお話を伺い、意見交換を行いました。

続けて次の訪問予定先である、おさなご幼稚園へ。こちらは、1階天井近くまで浸水の被災をしたものの、自園で保育を再開されています。ともしゃれた造りの新しい木造園舎で、夏に訪問した際にはまだ壁に津波の跡が残っていましたが、現在はすっかりきれいになり預かりの子ども達が元気に遊んでいました。こちらでも箱山幸子園長、主任から2時間近くの貴重なお話をお聞きする事ができました。第2次大戦を経験されている園長先生からは、“食べ物や物資は何とかなる、それぞれの命を守る事が大事”と強く話されていた事が印象に残りました。

立て続けにたくさんのお話を聞き、みんなそれぞれ精神的にも一杯になりながら今夜の宿サンルート釜石に到着。釜石市での夕食は、被災したものの再開した割烹『丸藤』で、地酒を飲みながらおいしいお魚料理を頂きました。その後、夜遅くまで飲みに行く人、女子会に盛り上がる面々、早朝散歩に出る者それぞれの釜石を満喫しました。

最終日は、眠い目をこすりながら8時に出発。大槌町で再開の目途が立たないみどり幼稚園の被災園舎を視察。築5年の素敵な園舎内は、泥こそきれいになったものの天井がむき出しになり津波のすごさが窺えました。山田町に移動し、いか徳利で有名な「木村商店」水産加工場を訪問。被災後いち早く仮設工場で再開し、高台への集団移転で12月新設の工場内でお忙しい中お仕事の手を休め、おいしい「いかののっぺ汁」を特別にふるまってくださいました。残念ながらパワフルな女性社長には少しの時間差でお会いできませんでしたが、それぞれたくさんのお土産を購入させていただきました。

バスにて、吉里吉里町に移動し、吉里吉里保育園を訪問。ご要請頂いた遊具(すべり台付ジャングルジム)を設置予定でしたが、設置スペースの都合上断念となりました。急遽、安渡保育所にお譲りする事となり、そこからは遊具設置班と堤乳幼児園訪問の2班に分かれ行動しました。堤乳幼児園訪問班は、みんなともだちプロジェクト本部の届けるともだち、「チームファンタジスタ」高橋氏とお会いし、双方の活動内容の報告する事ができました。

その後、吉里吉里町を視察、やはり仮店舗で営業している酒屋さんから地酒を購入しました。昼食は大槌北小仮設商店街にて。立ち並ぶ仮設のお店を探索しながら、参加者それぞれがお土産と昼食を取りました。その間、大槌小学校に支援した高学年用の方眼ノート185冊の支払いの為、和田商店へ。和田商店は地震後の火災に遭いアパートで再開されたとか。無事支払いを済ませて、一安心。

一路帰途につきましたが、盛りだくさんの今回の被災地訪問。内容を詰め込み出発時間が遅れた上、東北道工事渋滞が重なって帰着が大変遅れ、参加者のお家の方にもご迷惑をお掛けし申し訳ございませんでした。

私達はこれからも、復興応援という形で活動を続けていきます。日頃、様々な難題に向き合って保育されている現地の先生方を機会があればご招待し、横須賀で交流が持てたら・・そんな思いが込み上げました。今回の見聞きした事を伝えていく事も大事な支援と考え、夫々が行動して参ります。有難うございました。



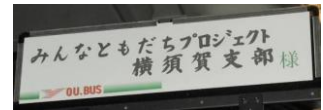
雪降る早朝に現地へ



大槌町役場脇で降車 後方は大槌小学校被災校舎



途中 金石の工場群



商工会にもプロジェクト
ポスターが掲示中



大槌町商工会伊藤氏と 多人数で伺いすみません



お借りした軽自動車大活躍



安渡保育所前の仮設住宅



安渡保育所のプロジェクトでお渡しした布団 NHK 鶴瓶の番組にも登場



安渡保育所での懇談



JR 大槌駅被災ホーム



おらが大槌復興食堂





みどり幼稚園仮設園舎



みどり幼稚園での懇談



みどり幼稚園被災園舎



おさなご幼稚園での懇談



復旧したおさなご幼稚園園舎



山田道路から見た山田町



神田交通のドライバーさん
無理難題の奥の細道を
大変お世話になりました



新設移転の木村商店豊間根工場



仮設の吉里吉里保育園



堤乳幼児保育園



持参した遊具を安渡保育所に設置



大槌北小仮設商店街